

戦評用紙

大会名	平成26年度 第66回藤井杯・高野杯山形県高等学校バスケットボール選手権大会
-----	--

日時	2014年4月20日 14:15 ~	区分	山形県バスケットボール協会
----	--------------------	----	---------------

チームA				チームB
山形中央				山形南
76	15	1Q	22	89
	13	2Q	25	
	19	3Q	23	
	29	4Q	19	
		延長		

【戦評】

白のユニフォーム山形中央は#4・5・6・8・13、青のユニフォーム山形南は#4・5・11・12・13がスターティングメンバー。山形中央はハーフコートのマンツーマンディフェンス、山形南はオールコートのマンツーマンディフェンスでスタートする。はじめ、山形南が速攻から連続で得点を決めリードを奪うが、山形中央は#13がミドルシュートを連続で決め食らいつく。8分が経過した所で山形南が連続で速攻を決め、白11-16青と5点の差をつけた。ここで山形中央が一回目のタイムアウトをとる。その後は両チームとも得点を重ね、白15-22青と山形南が7点をリードして第1ピリオドが終了する。

第2ピリオドは山形南の#4・#5のミドルシュートなど連続得点からゲームが動く。一方山形中央はなかなかミドルシュートを決めることができず、徐々に点差が広がっていく。3分が経過したところで山形南はメンバーを変え長身選手の#17#18をコートに入れる。ディフェンスも3-2ゾーンディフェンスに変えた。5分経過、ここで山形南は着実にリバウンドを奪い速攻につなげて得点を重ねる。白22-37青と15点までリードが広がり、山形中央は前半二回目タイムアウトを取る。山形中央もディフェンスを3-2のゾーンディフェンスに変える。8分経過時、山形南はメンバーをスタートに戻し、ディフェンスもマンツーマンに変える。終了間際、山形南が連続で得点を決め白28-47青と山形南が19点リードし前半が終わる。

後半は山形中央が3-2のハーフコートゾーンディフェンス、山形南はオールコートのマンツーマンディフェンスからスタートする。両チームとも一歩も譲らない白熱した展開となるが、6分経過した所で、山形南がオフェンスリバウンドから得点し、白37-59青と山形南が22点リードを奪った所で、山形中央は後半最初のタイムアウトを取る。ここで山形中央はオールコートのマンツーマンディフェンスを仕掛け連続で得点を奪うが、その後は山形南も落ち着いて対応し、再び点差を広げていく。山形中央はミドルシュート、ロングシュートともなかなか決まらず苦しい展開となる。第3ピリオドは白47-70青と山形南が23点リードし終わる。

第4ピリオドも山形中央はオールコートマンツーマンディフェンスから流れを引き寄せようとする。山形中央はタイトなディフェンスや、#5#8のドライブなどで点差を詰め10点差まで迫るが、アウトサイドのシュートが最後まで決まらず、追いつくことができずに白76-89黒で山形南が勝利を取めた。

戦評者

神位 裕介